



保護者座談会を終えて...

子ども達とお散歩や公園に行くと街の木々が綺麗に色づいており、目を楽しませてくれます。

11月10日に保護者座談会を行いました。今回の参加者は少なく4名でしたが、それぞれに話したいことや気になることをたくさんお話しくださいました。サポートブックを書きたいというテーマをいただいていたので、みなさんサポートブックを持

参くくださいました。Angeでは、昨年河内長野市のサポートブックを広める活動をされているハートの森田さんから、直接書き方講座を受けていたので河内長野市のリニューアルしたハートの話もしながら始まりました。

たまたま参加していた保護者のお子さんが全員女の子という事で、女の子あるあるの困り事や情報交換が始まりました。それから性的話に盛り上がり、学校のこと、お母さんたち自身の話など、話は尽きる事なく、サポートブックの記入もそこそこで時間を超えて話し合いました。

ここ数年、保護者でお仕事をお持ちの方が増えました。座談会や研修会を開いても参加者が少ないのは残念な事ですが、障害を持つ子どもがいても、社会にでて仕事ができる様になったことは、一昔前と違い喜ばしい事だと思います。ですが、働かざるを得なくなっているという社会状況も然りです。そして、保護者同士を繋ぐラインという新しいツールはありますが、お互い顔をあわせて話をする機会はコロナも加味して難しくなっています。

様々な情報があふれ、その情報に戸惑い、振り回されそうになる保護者もいます。そんな時、一緒に子どものことを考えてくれている仲間や支援者がいることは心強いと思います。Angeの座談会はそのような場になればと思います。

郡 奈美

研修実施予定！申し込み受付中！

12/5(月) 高齢期を迎えた障害者と家族(仮) 講師：田中 智子氏
(佛光大学 教授)

↓申込みQR↓



※外部の方など、どなたでも受講可能です。詳しくはお問い合わせください。

■場所：Ange(服部)又はzoom ■時間：AM10:00～ ■参加費：Ange保護者500円・外部の方1000円/1名

■申し込み・お問合せ：TEL(06) 6151-2996 Mail: kitamura@tokuyo.me 担当：北村

～本の紹介～

気になる本に出会いました。障がいのある子どもと暮らし、成長に一喜一憂しながら慌ただしく日々を送り、漠然とした不安の中、子どもの将来を案ずる事はあれど、自分の『老後』は後回しにしていた私。そのなかで今回の研修講師田中智子先生の著書『障害者家族の老いる権利』に出会い、年をとっていく親・家族のあり方を改めて考え直すきっかけをいただきました。日々の生活を送る中で積み重なる生活問題(ケアと子育ての境界)、家族から社会へのケアの移行(親兄弟の立場)等々いつまでも元気で長生きするのは難しい事。老いる事を恐れないで、老いる権利を考えてみませんか。

水上 さゆり



～お手紙を頂きました～ 署名のお礼

「旧池田北高校を支援学校に」の署名へのご協力ありがとうございました。私自身は、池田市内の小学校で支援学級の担任をしています。15年以上やっているので、豊中支援学校に何人もの卒業生を送り出してきました。その豊中支援が過密状況になって、冬でも廊下で授業をしていると聞いて、涙が出そうになりました。もし、地域の小中学校で、こんなことをしたら、大騒ぎになるでしょう。図書館も、理科室も、更衣室も無くなりました、なんてことも。もうこれは人権問題です。どの子にも教育を受ける権利があるのです。2回の署名提出で、府教委の対応も変化してきました。始めは、「過密状況は豊中支援だけのことじゃないんです」とあたかも私たちがわがままを言っているかのような対応でした。2回目には「豊中支援の過密状況は、何とかしないといけない」と認識している」と変化、500万円の調査費もつきました。しかし出てきたのは、庄内地域の子どもたちを東淀川支援に移すという通学区域変更でした。知的支援学校の空白域となっている豊能地区の北部に、新しい支援学校が必要です。お隣の兵庫県では、川西や西宮、神戸にも新しい支援学校が次々に開校します。大阪でできないわけがありません。新校実現まで頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。

豊能地域の支援教育を考える会 美濃辺あけみ

Angie HALLOWEEN!



うしおさん
ありがとう!

ハイチーズ♪

どんな仮装にしたかな?

ありがとうございます!

今年のトリックオアトリートは、昨年も参加してくださった在宅介護サービス「あいる」さん。そして今年7月にオープンしたばかりのラーメン店「うしお」さんが協力くださり開催しました。通常、仮装するのはお菓子をもらいに行く側ですが、Angeの場合は渡す側も気合を入れて仮装します。日常では着ないようなドレスやパール、ガイコツの衣装、そしてキャラクターのコスプレは小道具までばっちりです。馴染みのない物を身に付けるのが苦手な人は、創遊びで使うオオカミの帽子や、つながり遊びで使う王様の冠などならOK! 普段あちこち動き回る人もおしゃべり好きな人も、ドレスに身を包めば手を前て揃えて、おしとやかモードに。ガイコツの衣装を着た人は、ガイコツの歩き方をイメージしてお菓子をもらいに行くほど気合十分。でも帰りは「疲れた」と人になって帰ってきたそう。仮装しない人も「トリックオアトリート!」と言うのは忘れず、お菓子をもらっていました。

実践報告会での発表を終えて 大里 由恵

11/12開催!

今回、実践報告を書いて気付いたことがたくさんありました。1つ目は、文字におこすことで今までの子どもとの関わりをじっくりと振り返り考えることができたこと、2つ目は、振り返ることで私自身気付いていなかった子どもへの気持ちや働きかけなどに気付いたことです。日々の実践を文章にすることはとても大変ですが、書くことでそれを上回る気づきや大切なことを実感することができました。そして今回、赤木先生に質問や助言をいただきました。その中で「なぜその言葉がけをしたのか」と質問をいただきました。その時すぐに「これっ!」という回答ができなかったのですが、その言葉は私にとってこれからの子ども達にかけたい言葉や関わりを更に考えさせられるきっかけになりました。これからも色々な実践を積んで、子どもと一緒に成長していきたいです。そして改めて実践報告会をする中でたくさんの方の支えがありました。選んでいただき、発表させてもらい、多くの方に聞いていただけたことに感謝しています。ありがとうございました。

